

職員教育の状況

当院における職員教育の状況について、世界水準の臨床及び研究を推進している日本屈指の私立大学病院として、現場での実行力強化を目的とした教育機会の設定が必要と考え、2025 年度はそれらに関連する研修を下記の通り実施した。

1. 新任役職者向け階層別研修

新任役職者を対象とし、昨年も好評であったマネジメントや役割理解を中心とした研修を実施した。活気ある組織運営のため、継続して実施していく。

2. 若手職員向け教育

各年次で身に付けてほしい「コミュニケーションスキル」「論理的思考」「主体性強化」や「問題解決思考」に関連する研修を実施し、若手職員の能力開発を全学的に行った。

3. テーマ別選択型研修

個々のニーズに合わせて職員が受講を選択できる研修（アサーティブコミュニケーション、後輩指導、エクセル）を実施した。実務へ直結するスキルの獲得を支援し、組織力の強化と業務効率化に寄与した。

4. e ラーニングを活用した学習支援

各部署が独自の研修を円滑に展開できるよう、受講環境の管理・提供を行い、年間でおおよそ 250 本の多種多様な研修が本システムを通じて配信された。全学における主体的な教育活動を活性化させるため、システムの安定稼働を維持した。

5. 一次救命、二次救命教育

院内の全ての教職員が一次救命処置を行えるよう、一次救命教育を徹底した。また国際基準により、鎮静処置・急変対応ができる体制が求められているため、鎮静・麻酔実施エリアの教職員が常時対応できるよう二次救命教育を実施した。

今後も医療を取り巻く環境が大きく変化する中、教職員がやりがいを持ち、安全・安心に業務に取り組むことができるように、より環境やニーズに合わせた多様なテーマでの教育機会の提供を進めていく。

データ提供 人事部